

全力で走る、投げる、跳ぶ 中学生が自己ベストに挑戦

岩手地区中学校陸上競技大会(9月1日、県営運動公園)



全力で自己ベストの更新に挑む選手たち(走り高跳び)

- 【男子】(敬称略)
- 1000m 1年の部②山本一貴(西根) 2年の部③齋藤大士(安代) 3年の部②清信慶(西根)
 - 400m 共通の部②畠山雄太(西根3年)
 - 110mハードル 共通の部②工藤達郎(西根2年)
 - 1500m 1年の部①工藤郁也(西根) 大会新(4分43秒75) 共通の部①伊藤悠祐(西根3年)
 - 走り高跳び 共通の部③伊藤翔(松尾3年)
 - 走り幅跳び 共通の部②高橋志学(松尾3年) ③遠藤慎也(安代3年)
 - 棒高跳び 共通の部①槻沢尚英(安代3年) ②小林潤志郎(松尾3年)
 - 四種競技 共通の部③本間后哉(西根3年)
 - 400mリレー 低学年の部①西根中(山本一貴) 1年、遠藤綱一 1年、高橋理紀 2年、瀬川亮 2年



ラストパートで一気にごぼう抜き(1,500m)



全員でつなぐバトンをゴールへ(400mリレー)

- 【女子】(敬称略)
- 1000m 3年の部②笹森純香(西根)
 - 200m 共通の部②笹森純香(西根)
 - 砲丸投げ 共通の部①岩本美歩(西根3年)
 - 走り高跳び 共通の部③巖岩美希(西根12年)
 - 走り幅跳び 共通の部③豊川真有(安代3年)

ZOOM UP

「優勝したら坊主頭だ」。公約どおり大更小6年2組の寛道主将は髪を切った。小学生クラス対抗30人31脚岩手大会で頂点に立つ。「前年度、転倒した悔しさをバネに、敗退した翌日から体力づくりに励んだ。6月から全体練習を開始。課題が次々と浮かび上がる。解決策を自分たちで模索した。全員で話し合うたびに、クラスの心が一つになった。絶対優勝しようぜ」。大会当日は、全員が緊張していた。前日練習で転倒し、不安を抱えたままだった。今までの練習を思い出し全員で気合を入れる「全力で走りきるぞ、オー」。予選で初の9秒台が出る。感激で泣き出す者もいた。予選トップ通過でチームの士気は一気に上がる。疲労や足の痛みも忘れてがむしやらの優勝へのゴールを切った。11月県代表として全国大会に出場する。「秘策はある。8秒台を狙う」。全国優勝へ向け、6年2組の心と足並みはそろった。



工藤 寛道くん

●くどう・ひろみち(写真手前) 大更小学校6年生。小学生クラス対抗30人31脚岩手大会を制した6年2組のキャプテンを務める。児童会副会長として全校児童のまとめ役を担う。尊敬する人は、何事にも積極的に行動する両親。小学2年生から始めたバスケットボールでもキャプテンを務め、ポイントガードとしてチームを引っ張る。モットーは「がむしやら」。身長146cm、体重35kg。血液型B型。両親、姉、兄、弟、祖父母の8人家族。大更在住。

広報クイズ No.13 10月5日号の問題

今年の敬老会 対象者は市内 全域で何人?

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。
 ◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢、行政区」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
 ◎応募期限 10月20日(金) 消印有効
 ◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」
 ☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファクス 75-0469
 ☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp
 *メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。
 ◎第12回の正解 「4,000発」 ◎応募者数 17人 ◎正解者数 17人
 ◎当選者 伊藤房子さん(田頭)、工藤樹さん(松尾寄木)、村上征子さん(荒屋新町)

みんなの作品

～寄木小～



1年 佐々木 紀佳さん



絵画 「わたしのあさがお」



4年 上村 翔太くん



絵画 「さわがに ぷー」



6年 伊藤 拓哉くん



選挙ポスター「あなたの一票で社会にじができる」